

ウエスギ 小学生と美化活動 リサイクル意識を啓発

【名古屋】総合リサイクル企業のウエスギ（本社〓三重県四日市市天カ須賀新町1-32、上杉圭司社長）はこのほど、四日市市立中央小学校で開催されたフェスティバルにボランティアで参加し、児童や父兄とともに清掃・美化活動を行った。

今回の活動は、子供たちにリサイクルによ



小学生とリサイクル

る環境保全を実感してもらうのが目的。児童や父兄が持ち寄った新聞紙、段ボール、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、牛乳パックなどを品目ごとに分別、再生資源物の回収を行った。

また、ペットボトルのキャップを回収し、その収益を世界の子供たちにワクチンを送る活動にも参加。同社では、今後も同活動に積極的に参加していく考えだ。

同社は1921年創業の大手産業廃棄物処理業者。三重県を拠点に産廃の中間処理、被覆電線のナゲット加工、鉄・非鉄金属リサイクルなど幅広く環境ビジネスを展開する。また、米国ワシントン州シアトルに関連会社「ウエスギUSA」を持つ。